第１４２号　令和元年１１月１日

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者　桜新町広報：柏木君夫、岡元正史

１０月の定例会と「深沢あんしんすこやかセンター」

１０月３日 (木) はメンバー１５名、１１日 (金) はメンバー１６名が参加して定例会が行なわれました。

１．餃子（水餃子・焼き餃子）
２．秋なすのエビあんかけ
３．梨ともやしのサラダ

餃子となると、参加者が皆、燃えますね。WHY！？
３１日（木）は、あんすこ出前シェフを実施しました。

「北の国から」

１９８１年１０月から翌３月まで放送された、北海道・富良野を舞台にした連続テレビドラマ。その後、２００２年まで、単発ドラマが８作、作られられた名作です。放送開始時には、まだ録画機器が普及していなかったので（Beta vs VHS の競争時代）、金曜日の晩は夜の巷を彷徨せず、真っ直ぐに帰宅して観た記憶があります。
本作の脚本家の倉本聰が数年前、BS番組のインタビューでこう語っています。

「主人公の「黒板五郎」役の候補者は６人いて、
１．高倉健、２．緒方拳、３．藤竜也、４．中村雅俊、
５．西田敏行、６．田中邦衛。
中で一番、情けなく見える田中邦衛を選んだ」

高倉健さんの「黒板五郎」も、観てみたかったなぁ…。
田中邦衛は俳優座出身の名優で、ご存知のとおり加山雄三の「若大将シリーズ」の「青大将」役で、２０歳代で大ブレイクしました。後年、田中邦衛はこうは語っています。

「青大将で多少、この顔を憶えてもらえました。でも若大将の映画は緊張もせず、普通に撮影した。ただ海外ロケでいろいろな所に行けたのが、すごく楽しかったですね」

先日、あるテレビ番組が「北の国から」を取り上げていて、参加の３０代以下の人たちはドラマを「知らない」ということでした。
嗚呼、「昭和」は遠くなりにけり！

秋の「おとなの遠足」

豊洲市場見学と、ゆりかもめ・東京湾クルーズから、来年のオリンピック施設を眺めます。

これからの予定

１１月	７日（木）	定例会
１１月	８日（金）	定例会
１１月	１５日（金）	おとなの遠足
１２月	５日（木）	定例会
１２月	１３日（金）	定例会